

平成23年中の

交通事故発生状況

◆**県内の交通事故死者数** 169人
(前年比-36人)

◆**高齢者の死者数** 85人
(前年比-17人)

全国ワースト**9位**

全国ワースト**5位**

		発生件数	死者数	負傷者数
茨城県	平成23年	15,010件	169人	19,546人
	前年比	-1,236件	-36人	-1,556人
牛久市	平成23年	462件	1人	592人
	前年比	+11件	-3人	+30人

(資料提供：茨城県警察本部 平成23年12月31日現在)

◆県内の交通死亡事故の特徴

- ①年齢別では、高齢者(65歳以上)の死者数が85人で最も多く、全死者数の約5割。
- ②事故類型別では、「人対車両-横断中」が49人で最も多く、次いで「車両単独-工作物衝突」と「車両相互-出会い頭衝突」が各24人。
- ③違反別では、最高速度、右側通行、酒酔い、信号無視など悪質な違反による死者数37人が全死者数の約2割を占めています。


高 齢者は交通事故に注意!

昨年県内の交通死亡事故は、大幅に減少しましたが、全死者のうち約半数(50.3%)は高齢者(65歳以上)が被害に遭っています。特に歩いて道路を横断中に車と衝突したり、自転車で安全確認を怠ったために車と衝突しています。

【運転者の方へ】

- ★歩行中や自転車利用中の高齢者を見かけた時は、安全な間隔を取り、スピードを抑えた「思いやり運転」を心掛けましょう。
- ★夜間、対向車や先行車がない時は、ライトを上向きにし、歩行者や自転車の早期発見に努めましょう。

【自転車・歩行者の方へ】

- ★急な横断や進路変更は危険です。遠回りでも横断歩道や歩道橋、自転車横断帯を利用しましょう。
- ★交差点では一時停止し、左右の安全を確かめましょう。
- ★薄暮時や夜間に歩行者が被害に遭っています。外出の際は、白色系の服装や反射材を活用し、ドライバーに自身の存在を知らせる工夫をしましょう。

道 路凍結に注意!

スリップして、コントロールできない車は凶器です。県内の平成23年1月から3月の降雪時によるスリップ事故(人身事故)は172件(前年比57件増)発生し、うち1件は死亡事故です。また、物損事故は約1,200件発生しています。



- ★早朝・深夜の時間帯に要注意
- ★約半数が追突事故
- ★低速でも要注意
- ★安全な速度と車間距離を保つ
凍結時の制動距離は乾燥時の約4倍以上
- ★「急」のつく運転はしない
急ブレーキ・急ハンドル・急加速など
- ★予測運転
天候、気温から路面凍結を予測
- ★油断禁物
スタッドレスタイヤ、タイヤチェーンも万能ではありません。